

公社西台住宅自治会 ニーズ調査報告

2018年11月22日

内容

1. ご依頼内容の背景と課題確認
2. プロジェクトの目的確認
3. ニーズ調査アプローチ方法
4. アンケート調査
 1. 基本情報
 2. 結果概要
5. 会員アンケート調査
 1. 役員について
 2. イベントについて
 3. 自治会について
 4. 意見・要望等
6. 会員アンケート結果より提案
 1. イベント
 2. 自治会運営
 3. 入会と役員負担
7. 非会員アンケート調査
 1. 過去の意自治会参加
 2. 案内と未加入理由
 3. イベントについて
 4. 自治会加入について
 5. 意見・要望等
8. 非会員アンケート結果より提案
 1. 回答・意見より
 2. 若い人へ
9. まとめ

1. ご依頼内容の背景と課題確認

[背景]

長年住んでいる住民同士のコミュニケーションは取れているが、最近入ってきた人とはコミュニケーションがない。
自治会のイベントは縮小傾向となっており、自治会加入率も昔に比べ低下している。

[課題]

自治会員の減少や高齢化に伴い、縮小化しつつある自治会を活性化させたい。
自治会役員に若年層を増やし、以前のように大きなイベントを実施したい。
災害などの緊急事態のときには住民同士協力し合えるよう普段から交流を図りたい。



[課題解決のために必要なこと]

「住民の自治会に対するニーズは何か」をまず知る必要があるのでは？



住民が考える自治会への期待・不満・要望等を掘り起こす。

2. プロジェクトの目的確認

[自治会役員のみなさまのニーズ]

自治会を活性化させたい

自治会員を増やしたい

役員に若い人を増やしたい

イベントを拡充させたい

住民同士交流を図りたい

災害時等に協力し合いたい

・・・など



[プロジェクトの目的]

自治会役員のみなさまのニーズを実現させるための第一歩として、

全住民対象のアンケートによって、自治会に対するニーズを調査する

その結果を

- ・集計し、見える化する。
- ・分析し、活性化アイデアをご提案する

3. ニーズ調査アプローチ方法

ニーズ調査のためのアプローチ方法として、全住民を対象としたアンケートをおこなうため、以下のように実施していきました。

自治会への加入状況によって質問内容を変えるためアンケートを分ける

自治会役員のみなさまからの意見や類似した他アンケート事例などから
質問内容や回答選択肢を考え決定する

会員／非会員別のアンケートを実施し、検証する

アンケート結果を踏まえ、集計および分析しアイデアをご提案する

4-1. アンケート調査（基本情報）

【概要】

方法： 全戸対象に玄関ドアポストへ配布（WEBでの回答も可）

対象： 公社西台住宅へお住まいの住民

期間： 2018年10月31日～11月7日まで

【主な質問内容】

（共通） 住民自身の状況についての確認

（会員） 役員経験の有無と着任意思

（非会員） 自治会加入履歴と未加入理由

（共通） イベントの認識とイメージ調査

（共通） 自治会のイメージ・加入意思・要望等

【実施目的】

住民の自治会に対する様々な考え方を確認し、今後の自治会運営の活性化ヒントを得るため。

各回答をわかりやすく見える化し、分析結果から活性化アイディアをご提案するため。

4-2. アンケート調査（結果概要）

配布数：（会員） 256
（非会員） 136

回答数：（会員） 84
（非会員） 18

回答率：（会員） **32%**
（非会員） **13%**

本アンケートの回答率は、一般的なアンケートの回答率に比べ非常に良いものだった。
自治会に対する期待や要望があり、非会員も決して無関心ではないことが伺える。

- 回答数と住民属性から見られる傾向
 - ・ 70代が57.1% 80代が22.6%と圧倒的に高齢者の回答が多い。
 - ・ 性別は女性が74.1%と女性の回答率が高い。
 - ・ 会員に比べ非会員は回答率が低かった。
 - ・ 高齢者の回答が多く、若い人の声が不透明。

5-1. 会員アンケート調査（役員について①）

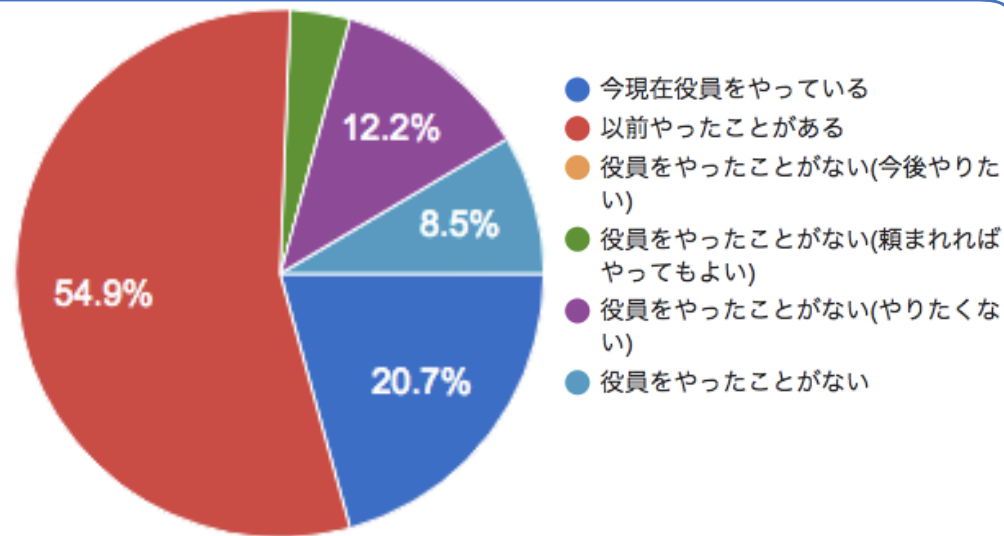
■ 役員の実験について 回答件数：82

やったことがある方が多く、

- ・やったことがある、いまやっている方が**75.6%**
- ・やったことがない方が24.4%

[その他の意見]

仕事が忙しくてできない、
やりたくないという意見もある



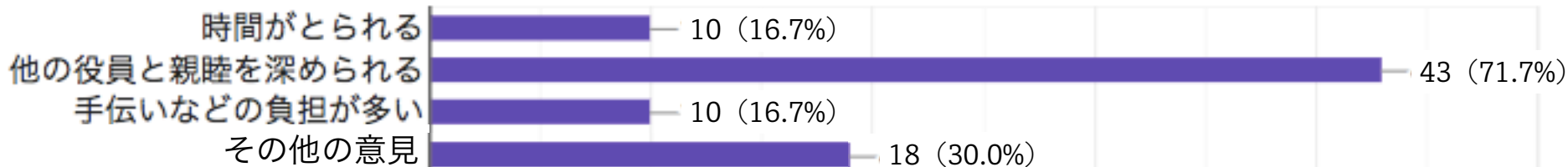
■ 役員をやってみてどうか 回答件数：60 ※複数回答可のため合計は100%を超えています。

友好的な意見が多く、

- ・ほかの役員との親睦を深められる**71.7%**
- ・時間を取られると思っている方16.7%
- ・手伝いなどの負担が多い16.7%

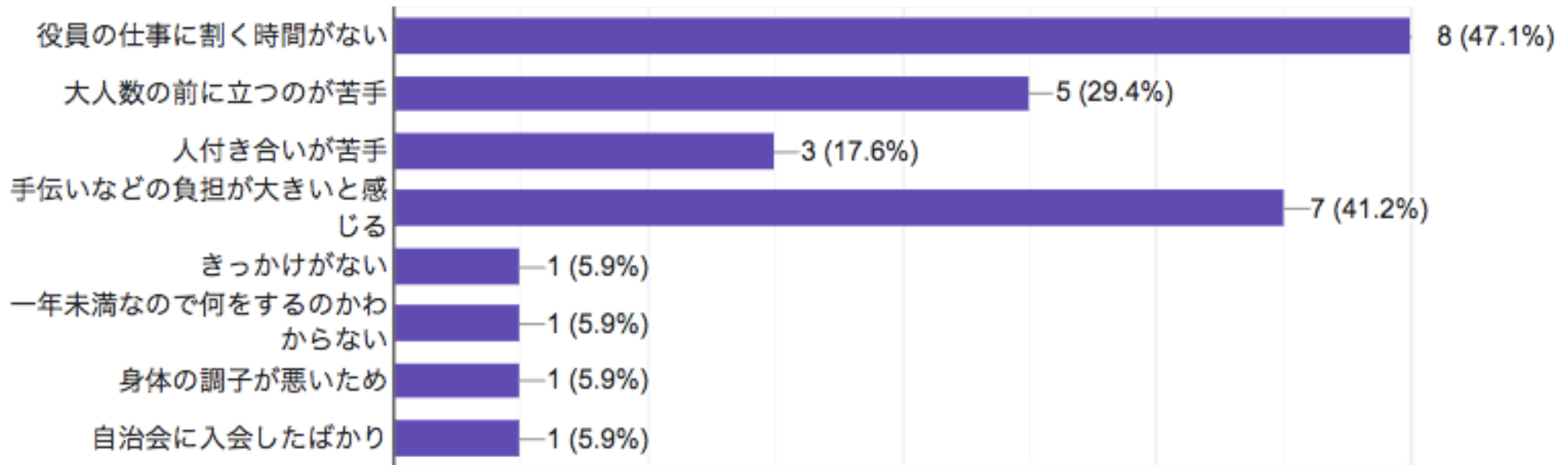
[その他の意見]

時間がない、人付き合いが苦手、仕方なくやっている、
体調がよくないなど**否定的な意見が30%**ある



5-1. 会員アンケート調査（役員について②）

■ 役員をやったことがない、やりたくない理由 回答件数：17 ※複数回答可のため合計は100%を超えています。



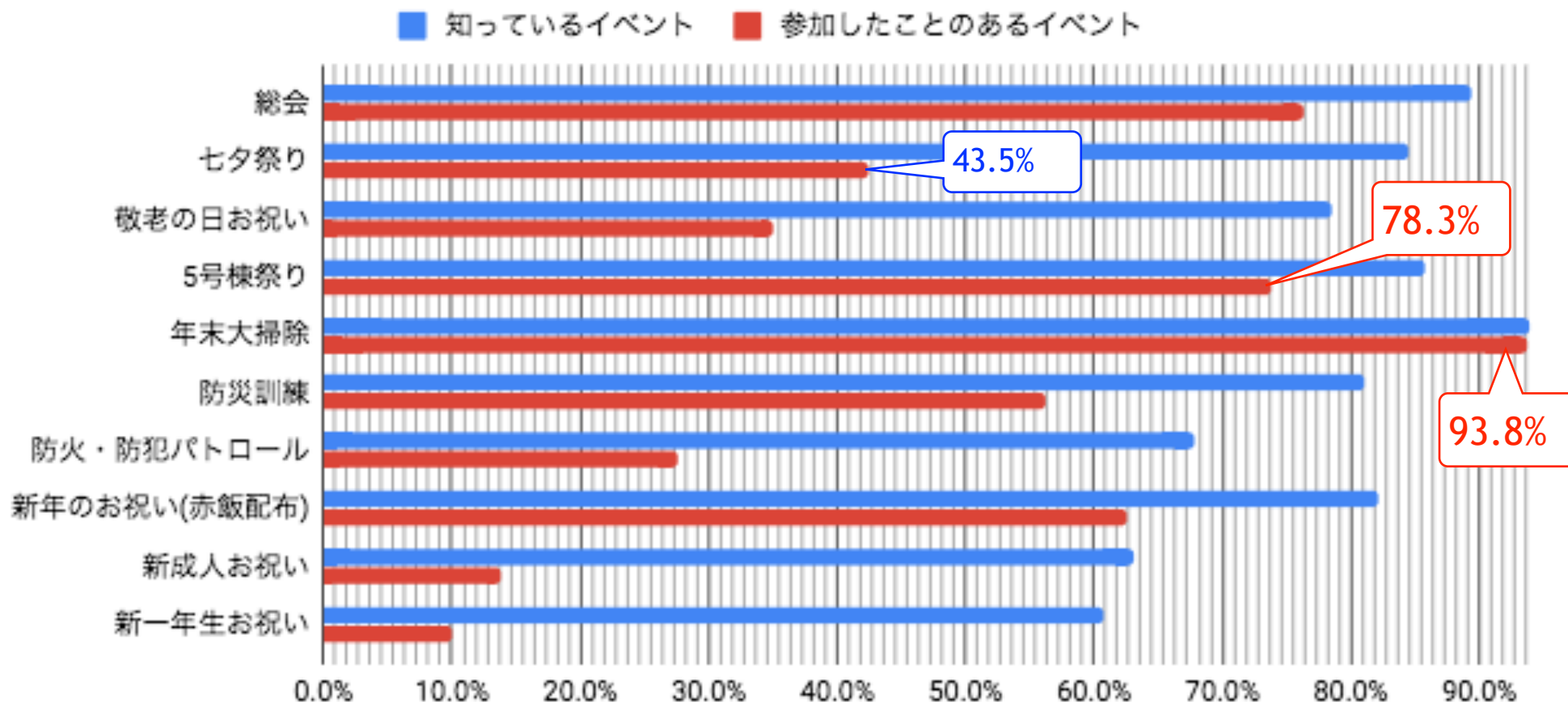
■ 役員についての質問から見られる傾向と対策案

役員経験ありの方からは、親睦が深められる等の友好的意見が多く見られるが、役員経験なしまたはやりたくない方は、手伝いの負担や時間がないなどの理由が多く占めるため、**役員活動の負担軽減をしていく工夫**をしてみてもいいのではないでしょうか。

5-2. 会員アンケート調査（イベントについて①）

■ イベントの認知度と参加

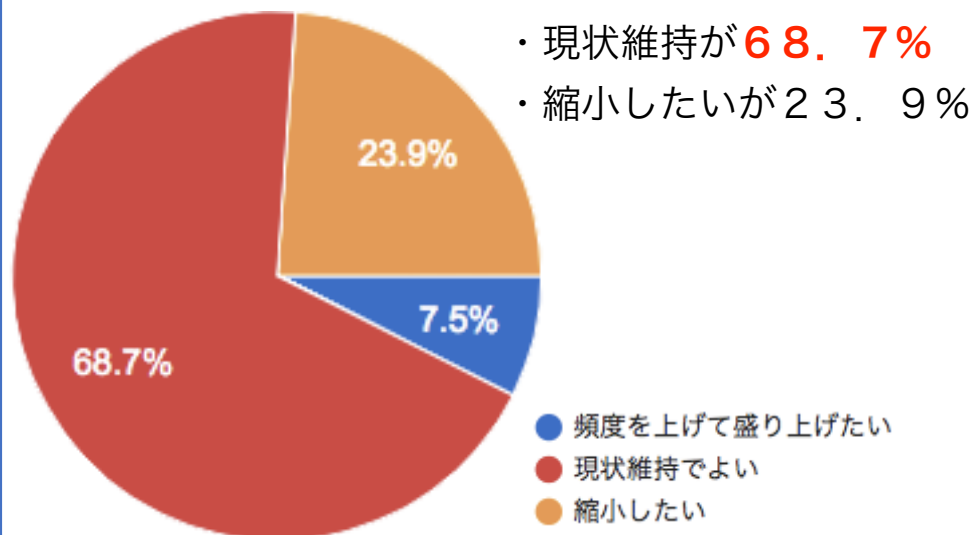
回答件数：認知84 / 参加80



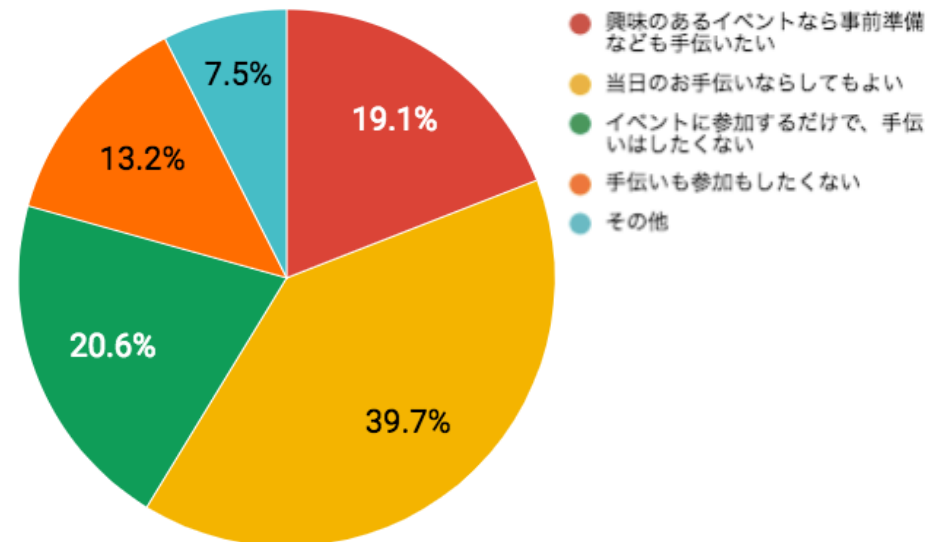
- ・お祝いのものは、対象者のみなので参加率は少ないが、楽しみにしている方もいる
- ・七夕祭りは、認知度や準備の大変さの割には参加者が少なめ

5-2. 会員アンケート調査（イベントについて②）

■ イベントの頻度 回答件数：67



■ イベントとの関わり 回答件数：68



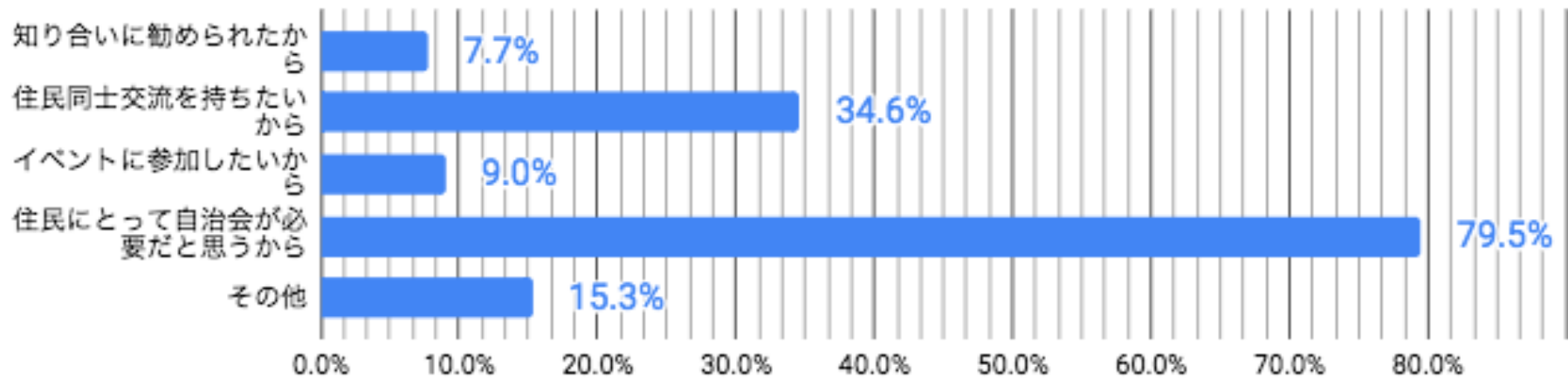
・当日のお手伝いならしても良いが**39.7%**

■ イベントについての質問から見られる傾向と対策案

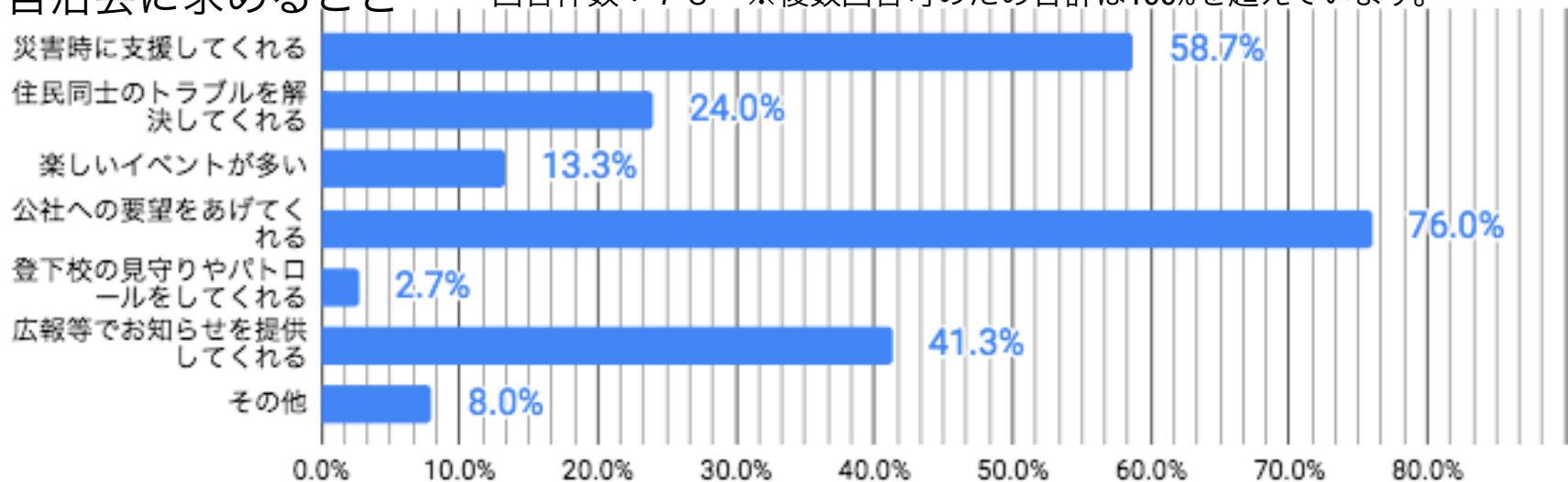
各イベントの認知度はとても高いが、イベントの種類によっては参加率がまちまち。頻度については、現状維持または縮小の意見が多く、手伝いは当日のみやあまり関わりたくない意見が目立つため、**イベントはひとまず縮小して、手伝いの負荷が少ないイベント運営を検討し、参加率を高めてみてはいかがでしょうか。**

5-3. 会員アンケート調査（自治会について）

■ 自治会加入のきっかけ 回答件数：78 ※複数回答可のため合計は100%を超えています。



■ 自治会に求めること 回答件数：75 ※複数回答可のため合計は100%を超えています。



5-4. 会員アンケート調査（意見・要望等）

- 意見・要望等の一例 回答件数：魅力的な自治会とは？ 38 / ご意見・ご要望自由記述 40
- ・ 要望があったら直接公社と交渉してもらえる自治会
(室内修理、室内の洗濯機、駅に行く階段が大変なのでエレベーターが必要、エントランスやエレベーターホールに防犯カメラを)
 - ・ 高齢になってきているので、負担が少ないと良い
 - ・ 多種雑多な住居者を結びつけるようなもの、お互いに助け合える自治会
 - ・ 同じ住居の者同士としてフリースペースでお茶を飲みながら話せる場があると良い
 - ・ 困ったことがあったら気軽に相談に乗ってもらえる
 - ・ 住民同士の交流の場を提供してもらえる
 - ⇒ 相談ができ、交流できる場の提供
 - ・ ホームページがあると良い
 - ⇒ 若い人への投げかけ
 - ・ イベントの活性化より、安否確認などをして欲しい
 - ⇒ SNSなどで安否確認できるシステムを導入できれば
 - ・ イベントを縮小した分のお金を有効に活用する
 - ⇒ AEDの設置などの有効利用を提案

6-1. 会員アンケート結果より提案（イベント）

■ イベントについての提案

◎ イベントの見直し

→ イベントを縮小して役割や手伝いを少なくしてみる。

また、子供向けのイベントを取り入れるのはどうでしょうか。

(例：ハロウィンでのお菓子配り、クリスマスにクリスマスツリーを飾り、子供たちで飾りつけをする等)

※ママボノメンバーが廃止してもいいと思ったイベント ⇒ 七夕祭り、新年のお祝い

◎ イベントを住民主体での開催

イベントを縮小したい声がある一方で、一泊旅行をしたいとか、

これは！というイベントを企画してほしいという声もありました。

→ 自治会主体ではなく、住民がイベントを企画、開催したい人が主体となって、運営をしてみてもは？

→ 例えば、以下の手順でイベントの開催を実施

(1) 自治会はイベント募集の掲示板を提供

(2) その掲示板に住民が開催したいイベントがあればそれについて投稿し、

自治会の合意を得た上で企画運営等を開催を提案した住民が行う

[イベントの例] ランチ会、おしゃべり会、ウォーキング、ハロウィン、クリスマス

ママ向けの交流会（ベビーマッサージ、ベビーヨガ、絵本の読み聞かせ会等）

※自治会は場所の提供、掲示板での案内のみ ⇒ 自治会の負担が減少

6-2. 会員アンケート結果より提案（自治会運営）

■ 自治会運営の提案

◎困ったときにお互い助けられるような仕組みを作る

→自由に気軽に交流できるスペースをつくるのはどうでしょうか。

例：お茶飲みスペース おしゃべり会等の自由に交流できる場を提供等

◎ホームページ、SNSの開設

→若い人に作成してもらうなど、引き受けてくれる人を募集をしてみたり、安否確認システムなども一緒にできるとよさそうです。

◎男性が少ないことへの改善

→パパ同士の交流の場を設けてみてはいかがでしょうか。

防犯パトロール等男性が主体となる活動をお願いしては？

まずは、役員などで活躍されている奥様方の旦那様に声をかけてもらうなど。

◎防犯カメラ、エレベーター設置の要望

→自治会ではなく、自治会を通して公社に要望を出してみてはいかがでしょうか。

6-3. 会員アンケート結果より提案（入会と役員負担）

■ 入会と役員負担軽減の提案

◎入会方法の見直し

- 入会のチラシを作成、そこにURL、QRコードを添付、そこからメールアドレスを登録して自治会入会する仕組みをつくってみるのはいかがでしょうか。
アドレスからイベント情報を伝えるなども可能になりそうです。
※そうすれば若い人も入会しやすいのではないのでしょうか。
※入会案内は公社の人が家を貸すときに案内してもらうなど。

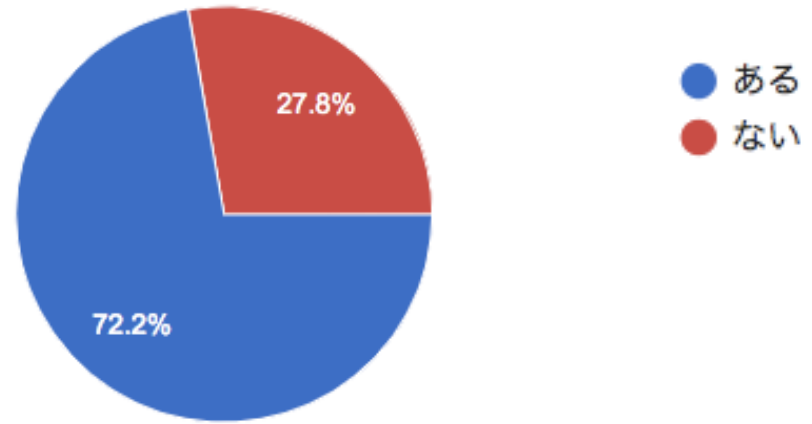
◎役員の仕事の軽減

- 役員の仕事について見直しをし、負担が少なくできれば良いと思います。
- アンケートで役員の仕事が負担という回答が多かったので、役員の中で必要なもの、不要なものを整理して削減できるものは削減していくことで役員は大変というイメージをまず払拭してみてはいかがでしょうか。

7-1. 非会員アンケート調査（過去の自治会参加）

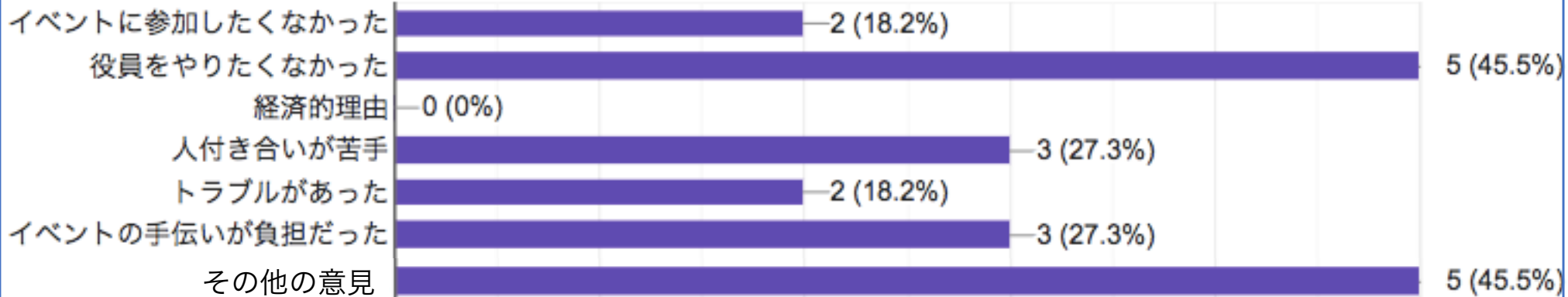
■ 過去の自治会への参加 回答件数：18

- ・ある方が**72.2%**
- ・ない方が**27.8%**



アンケートへ参加してくれた方は過去に会員だった方が多かった。

■ 自治会を退会した理由 回答件数：11 ※複数回答可のため合計は100%を超えています。



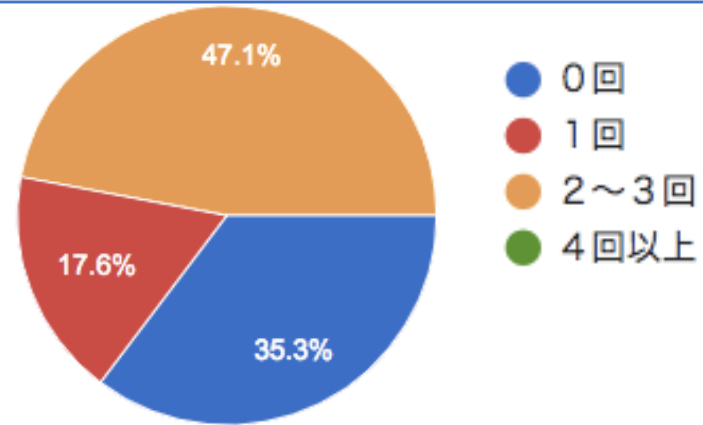
[その他の意見]

加入家庭が少数で役員がすぐ回ってくる、長時間の手伝いが疲れる、勝手に役員候補にされた、自治会参加の圧力、体力的に困難など

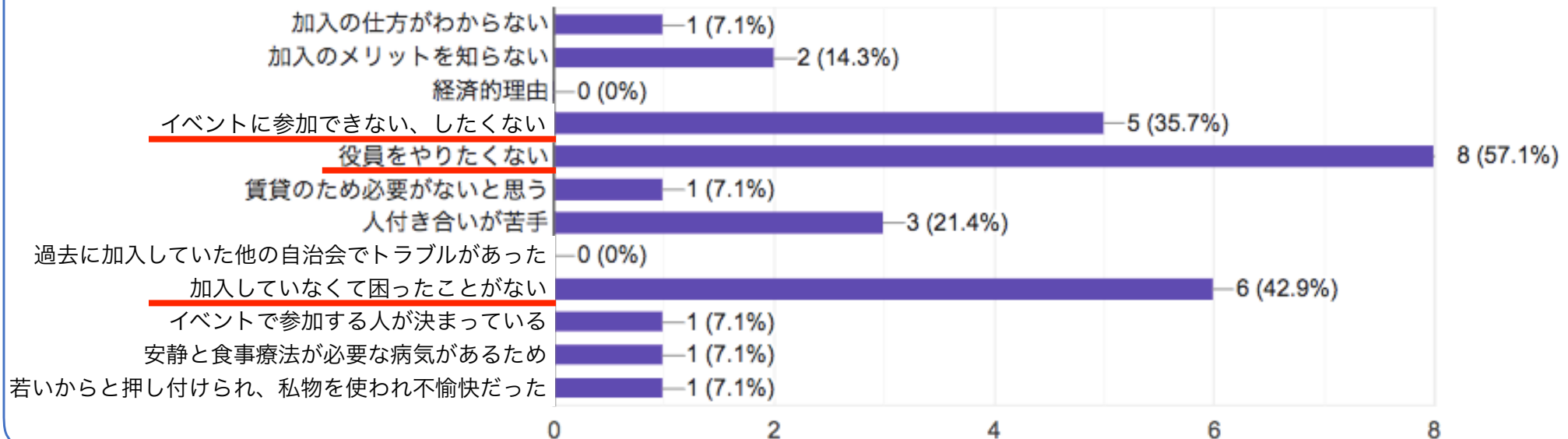
7-2. 非会員アンケート調査（案内と未加入理由）

■ 自治会の入会案内 回答件数：17

- ・入会の案内が0回の人**が35.3%**
想定より多いと思われる。

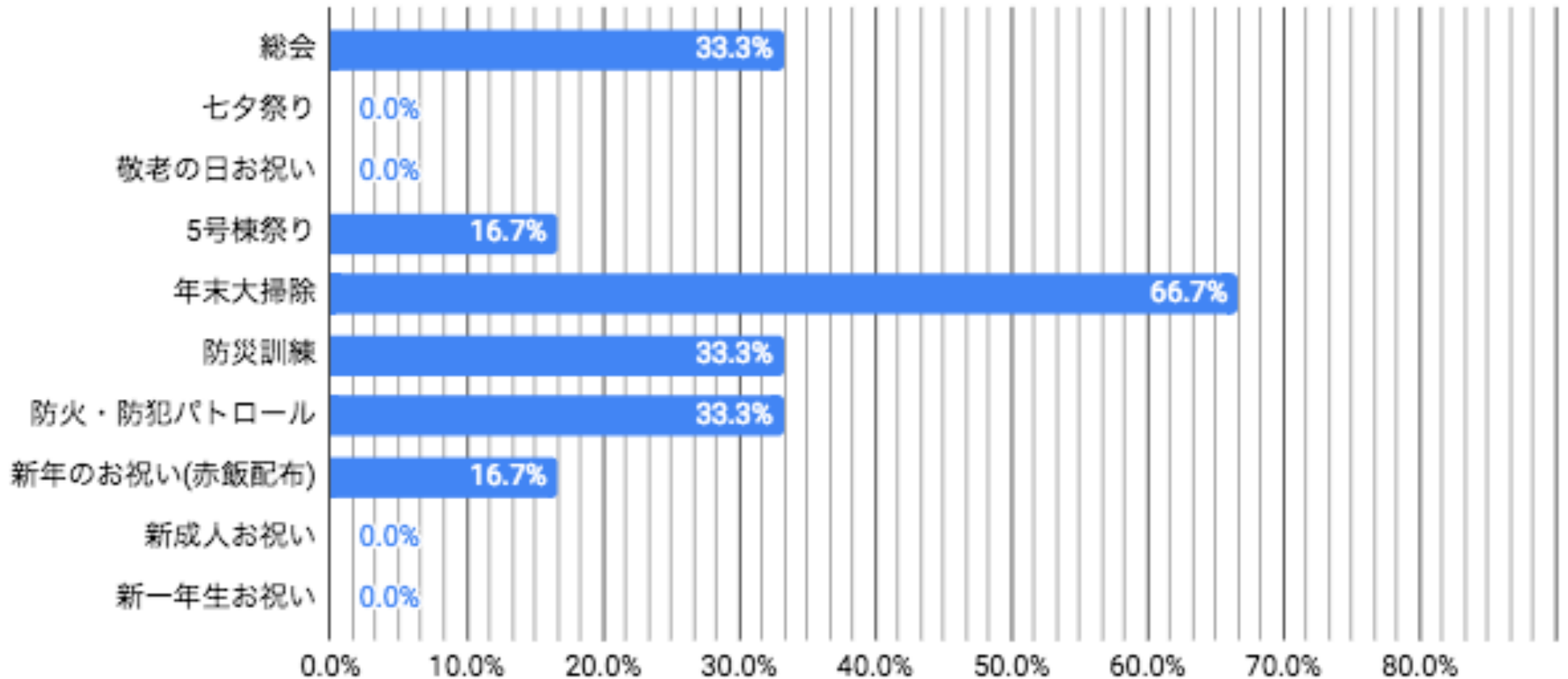


■ 自治会に未加入の理由 回答件数：14 ※複数回答可のため合計は100%を超えています。



7-3. 非会員アンケート調査（イベントについて①）

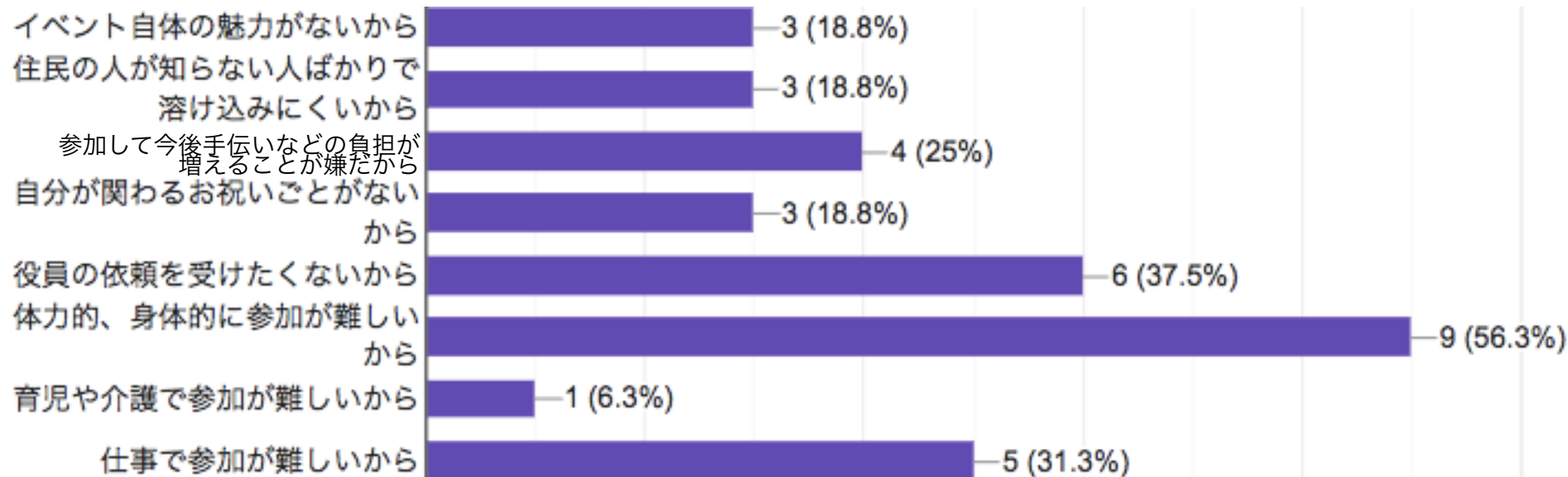
■ 参加してみたいイベント 回答件数：6



年末大掃除、防火防犯イベントには参加したいと考えている人が多い。
逆に祭りに参加したいという人は少ない。

7-3. 非会員アンケート調査（イベントについて②）

■ イベントに参加しない理由 回答件数：16 ※複数回答可のため合計は100%を超えています。



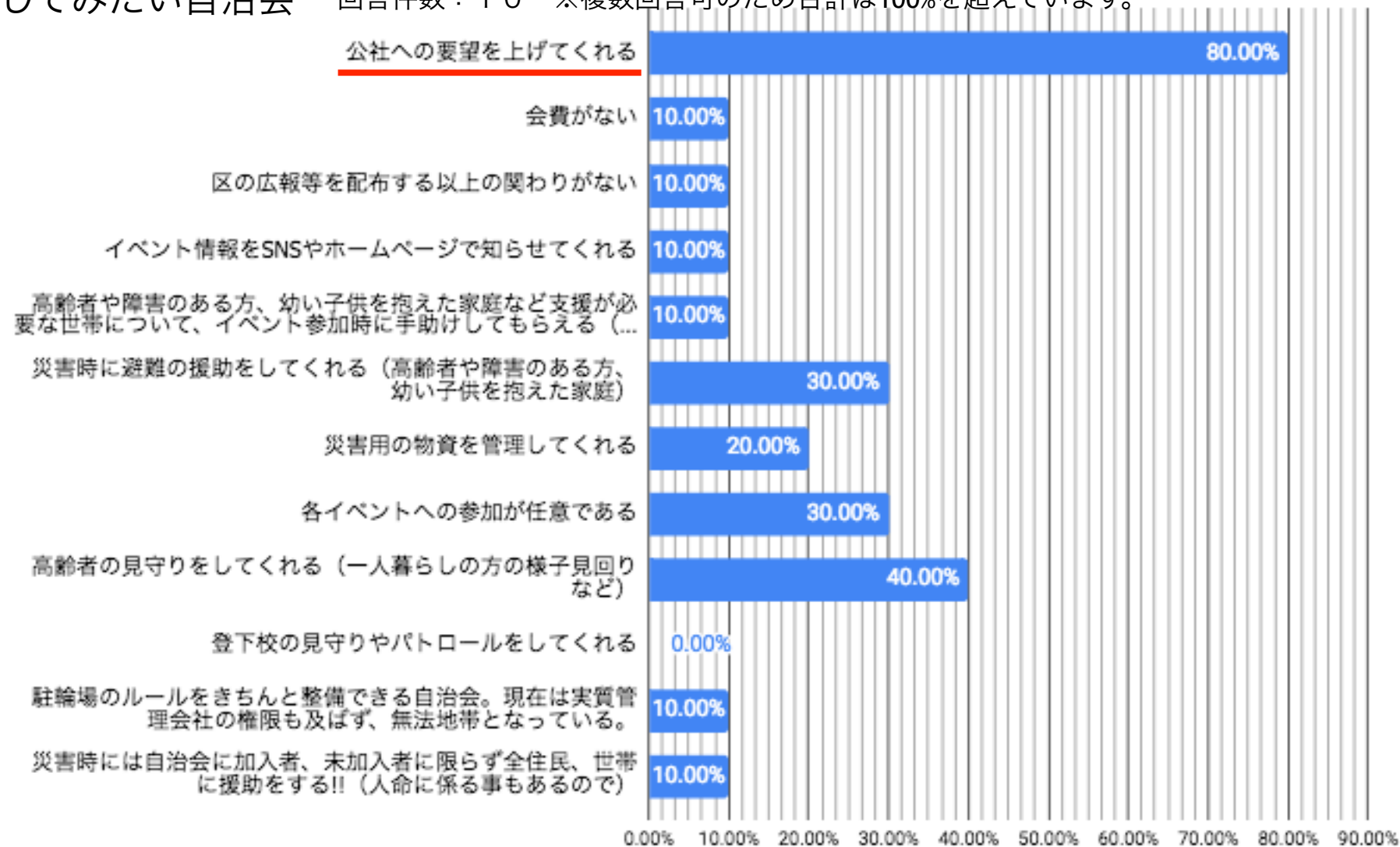
■ イベントについての質問から見られる傾向と対策案

防災や大掃除など生活に直結するようなイベントに関心が高い傾向。

イベントに参加しない理由として体力的、身体的の理由が多く、次いで役員や手伝いの負担の重さ、仕事となっているため、**短時間で体力を要せず、住民であれば顔を出しやすい形のイベント**を模索してみてもいいでしょうか。

7-4. 非会員アンケート調査（自治会加入について）

■ 加入してみたい自治会 回答件数：10 ※複数回答可のため合計は100%を超えています。



7-5. 非会員アンケート調査（意見・要望等）

■ 意見・要望等の一例 回答件数：8

- ・ イベントを盛り上げるよりも住環境の整備等を期待している意見が多い（ベランダ喫煙へのクレーム、外国人居住者のマナー違反等）
- ・ 加入していなくても自治会には感謝しており、必要性も感じている。
- ・ 定年退職後の男性に盛り上げてもらいたい。

8-1. 非会員アンケート結果より提案（回答・意見より）

■ アンケート回答から考える改善策の提案

◎非会員の貴重な回答なので、数が少ない分ひとつひとつの意見に耳を傾け、改善策に取り組んでみるのはいかがでしょうか。

- ・喫煙所を各フロアに設けるなどルールの徹底
- ・各国の言語でもルールブックを作成

◎改善出来た事はチラシ等で報告することで、自治会活動を周知し理解を得られないでしょうか。

◎入会案内方法の見直し

⇒パンフレットを制作して入居時に必ず配布する仕組みを作る等

◎公社へ駐輪場の整備、喫煙所の整備、災害時の人命救助に関わる役割分担を交渉できないでしょうか。

（備蓄品の費用は公社側負担で管理のみ自治会、

点呼を自治会に依頼するのであれば入居者名簿の最新版を常に自治会に提示し、必要であれば要支援者などの情報も）

8-2. 非会員アンケート結果より提案（若い人へ）

■ 若い人に自治会活動へ興味をもってもらうアイデアの提案

◎若い人や子供にメリットのあるイベントをしてはどうでしょうか。

（例）ハロウィンイベント。

⇒ 準備はお菓子を用意する程度で、子供たちがそれぞれ仮装して参加。
イベントをきっかけに自治会と若い世代との関係を築くことで、
日々の自治会活動に少しでも目を向けてくれる可能性が。

◎住民の子育て世代のママたちでチームを結成してみてもどうでしょうか。

（例）ママボノのように自治会ルールを決めたり、入会パンフレットを作成。

⇒ 子連れで出来るよう、ミーティング中は高齢者の方に近くで子どもを見てもらうなど

【チラシやポスター例】

「子育ての合間に活動しませんか？子連れOK!

子育て経験豊富なおばあちゃん達が面倒みるのを手伝います!」

→若い世代がチーム化し、高齢者世代と共に意見が言い合える風土となるきっかけに。

9. まとめ

本プロジェクトにてご提案させていただきました内容を以下にまとめました。

- ・現在の自治会イベントの見直し（廃止、縮小、新規追加）
- ・住民主体イベントの開催支援
- ・役員の仕事軽減
- ・住民同士が気軽に交流できる場所の提供
- ・役員のご主人をはじめとした男性の活動参加呼びかけ
- ・公社への要望、役割分担の交渉
- ・住民へのルール周知
- ・入会案内方法の見直し（チラシ作成、WEB入会）
- ・ホームページ、SNSの開設
- ・住民の声を受けて対応した内容の周知

このプロジェクト成果によって、自治会の活性化に結びつく最初の一步となりますようご活用いただけると幸いです。